

保護者の皆様

平成23年度 基礎・基本定着状況調査結果

広島市立亀山中学校
校長 佐藤 昌史

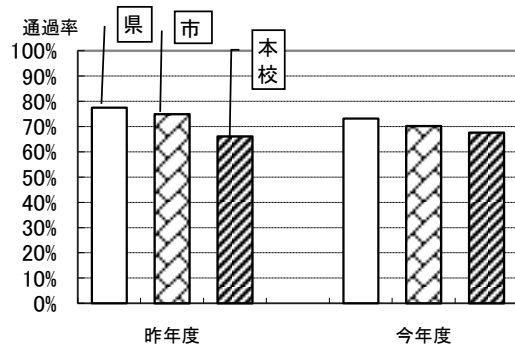
清秋の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
平成23年度2学年の広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果をお知らせいたします。
本年度の結果は、国語の「書くこと」や英語の「読むこと」において県・市を上回る結果が出ていることや、昨年本校の通過率より3教科共に伸びているという成果もありますが、全体の通過率についてはまだ県・市より低い結果となっています。
各教科ごとに、今後の方策でお示ししますとおり、これからも授業改善を進め、基礎・基本の学力のいっそうの定着を目指して努力して参ります。

【教科に関する調査結果】

<国語>

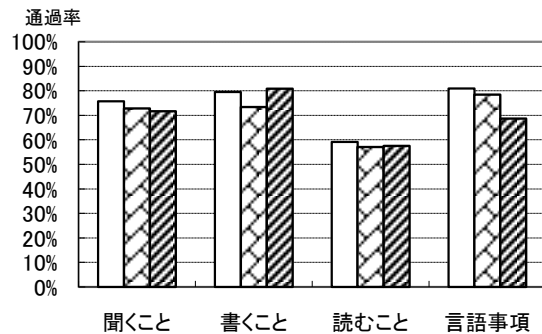
| 地域 | 昨年度通過率 | 今年度通過率 |
|------|--------|--------|
| 県平均 | 77.5% | 73.2% |
| 市平均 | 74.9% | 70.2% |
| 本校平均 | 66.1% | 67.6% |

通過率：正しく解答(正答)を出した生徒と、考え方はあっているが答えが少し違った(準正答)生徒の人数を合計したものが全生徒数に占める割合のことです。



今後の方策

- ① 言語事項の定着の不十分さが見られる。今後は小学校での習得漢字もふまえて定着を図るよう対策を考えていきたい。
- ② 読解については、深い読み取りもできるよう取り組みを工夫していきたい。
- ③ 書くことに関しては、今までと同様書く機会をできるだけ設けていきたい。

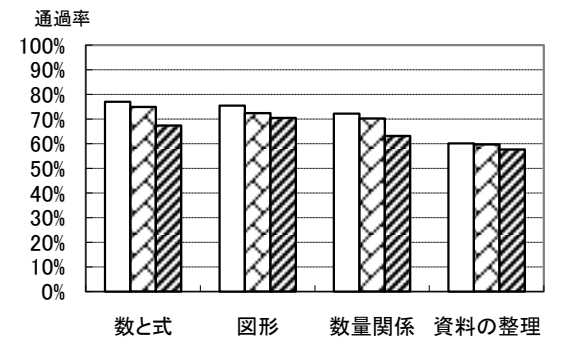
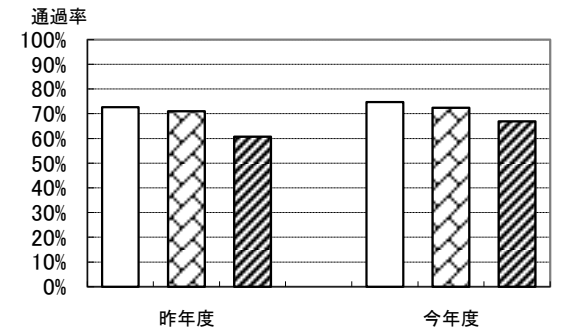


<数学>

| 地域 | 昨年度通過率 | 今年度通過率 |
|------|--------|--------|
| 県平均 | 72.6% | 74.7% |
| 市平均 | 71.0% | 72.4% |
| 本校平均 | 60.7% | 66.9% |

今後の方策

- ① 必要に応じて過去の学習内容をさかのぼり、基本的な力をより固めるためにその内容を繰り返すような指導を行う。
- ② 数量関係の学習では、ノートをしっかり活用し、図やグラフをきちんと書くことと思考の過程を明記することを徹底していく。
- ③ 学習時間を少しでも増やせるように、宿題を定期的に出し、家庭学習の時間を確保させるようにしていく。



<英語>

| 地域 | 昨年度通過率 | 今年度通過率 |
|------|--------|--------|
| 県平均 | 70.2% | 71.9% |
| 市平均 | 66.3% | 69.9% |
| 本校平均 | 56.5% | 59.9% |

今後の方策

- ① 授業の中では既習の表現を用いて英語を使用する練習時間を増やす。また、ALTとの交流を通して異文化を理解し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
- ② 授業の中で、教科書の基本文や重要表現が理解できるようプリントやワークを使って繰り返し復習する。
- ③ 昨年度から行っている毎日の自主勉強ノートの課題を継続し、語句・重要文などを書くことにより、家庭学習を定着させる。
- ④ 音読練習を繰り返し、発音・アクセント・イントネーションを正しく身につけさせる。英語を声を出して読もうとする意欲を育てる。

